

ゼロの焦点 (1961)

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1961/03/19

【解説】

松本清張の同名長編推理小説を、橋本忍と山田洋次が脚色し、野村芳太郎が監督したミステリー作品。2009年に犬童一心監督により再映画化された。

上野駅から金沢へ旅立つ鶴原憲一を、結婚して七日目の新妻である禎子が見送った。しかし出張から帰ってくるはずの日になっても、憲一は戻ってこなかった。行方不明となった憲一を捜すため義兄が金沢を訪れるが、青酸カリ中毒により死亡してしまう。広告会社に勤務する前、憲一は巡査だったことがあり、パンパン(売春婦)の取り締まりに当たっていたことが判明。義兄の殺害犯としてパンパン風の女が目撃されていた。そして禎子は、憲一が親しかった室田社長が経営する会社で、パンパン独自のアクセントの英語を使う受付嬢がいたことを思い出す。

【クレジット】

監督 野村芳太郎

製作 保住一之助

原作 松本清張

脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto

山田洋次

撮影 川又昂

美術 宇野耕司

音楽 芥川也寸志

出演 久我美子

高千穂ひづる

有馬稲子

南原宏治

西村晃

加藤嘉